

ガス水道局発注本支管工事での談合疑惑、音声記録も 工事受注を巡る業者間の生々しいやりとりが浮き彫りに



市議会の建設企業常任委員協議会が24日午後からありまし

た。この委員協議会は、私が16日の一般質問で明らかにしたガス水道局の入札談合疑惑についての報告と質疑でした。冒頭、宮越

ガス水道局長は市内の業者が公正取引委

員会に提出した資料を17日に私から提供されたこと、それを受けて19日に局内に調査委員会を立ち上げたことを明らかにしました。また、今後23社54人から聞き取りを行う方針であることなども報告しました。

宮越局長の報告後、本城文夫委員などから、「徹底した真相究明を市民は求めている。公取委に報告されたというが、その後、公取委からは事情聴取はなかったのか」「業者は談合情報をフアックスでガス水道局に伝えたといわれているが、どういうふうに取り、処理しているのか」「ガス水道局出身で（本支管工事）関連会社に天下りした人はどれくらいいるのか」などの質問が出ました。宮越局長や岩滝次長によると、公取委からの聴取はな

く、フアックスについては1件情報提供があったものの、入札後の情報だったので談合情報として扱わなかったとのこと。ガス水道局から関連会社に就職した人は少なくとも3人いることが明らかになりました。

私は、この間のガス水道局の調査で何が明らかになったかなどについて質問しました。答弁の中でガス水道当局は、16日の一般質問で私が読み上げた予定価格事前公表時の入札時の業者間ルールなどの記述がほとんど間違いなことを明らかにしました。また質問の中で私は、業者間で入札に関して激しい議論になっていた会議の録音データを業者から新たに入手したこと

も明らかにしました。この録音データはガス水道局に手渡しました。

この録音データには、本支管工事入札を巡って関連業者が話し合っていたことが記録されています。記録された時間は約27分間です。「SさんやHさんは上越でたいそしてまとめて来たわけですよ。おまんだを長老だと思って仲良く出来るものは仲良くしようと思ってきた。長老と言われる人だったら、もう少し、周りや下の人の意見も聞いてくれなきゃ、我慢できないですよ。2社だけが入札でどんどん取っていくなんてとんでもない」（中略）「工事は経済対策のために出したんでしょ。おまんだだけが口の中に入れるのではなくて、まわりにも回すとかいう考えないんですか」「いいよ、いくらでも回すよ。ちゃんとやってくれよ」など激しいやりとりが記録されています。提供者によると、この記録は2009年（平成21年）3月に録音したものだといいます。今後の真相究明に大きな影響を与えるものと思います。



【織部饅頭】「おりべまんじゅう」と読みます。先日、表千家の茶会で初めていただきました。茶人、古田織部にちなんだお菓子。しつこくない甘さが印象に残りました。上越市稲田での茶会にて撮影。

地域自治区などで石崎教授を訪問

23日、いいがた自治体研究所の皆さんとともに新潟大学法科大学院の石崎誠也教授を訪ねてきました。

新潟大学は私の母校ですが、訪れたのは久しぶりです。今回は、上越市の地域自治区、地域協議会について石崎教授の専門的な見解をお聴きしたくて出かけました。

私が一番訊きたかった産業建設グループの集約と地域自治についての教授の見解ですが、教授は、「これまでの自治区の範囲を越えてのシステムをつくるのは自治の仕組みとしてはいいかなものか。事実上の所管区域の変更なので、やるとすれば条例上の手続きも必要ではないか」とこれ



か」とこれまでも私が議会で主張してきたこととほとんど同じ見解を示されました。この見解を聴き、ホッとしました。今後、どうしていか、みんなでお話したいと思

子どもの頃からずっとお世話になってきた駅だからでしょうか、柿崎駅で起きるちよつとした出来事がいつも心に残ります。

先日の夜、高田の街で友達と飲んで、電車に乗って帰ってきた時のことです。柿崎駅に着いて、電車から降りようとする時、「あら、おまんだね」とNさんが声をかけてくださいました。

Nさんとは、妻の職場が柿崎にあった頃からです。三十数年来の付き合いです。

長女と長男が保育園児だったころはNさんの仕事場が遊び場だったとも聞いています。Nさんは文化から政治まで幅広い活動をされていて、私も一時期、一緒に動いたことがあります。活動が多分野にわたっていることは知っていましたが、秋の大島音楽祭で浦川原区のコーラスグループの一員として歌を歌っている姿を見たときにはびっくりしました。

電車から降りるとき、Nさんは私の下腹部に触り、「ちよつと太り過ぎだねー」そう言ったあと、駅の玄関口に行くまでの時間、私と一緒に歩きながらおしゃべりをしました。私が高田で飲んできた話をすると、Nさんは「おれは、浦川原で飲んできたんだ」と言われましたから、コーラスグループの忘年会でもあったのでしょうか、だいぶ御機嫌がよさそうな感じがしました。

柿崎駅は午後六時を過ぎると無人駅となります。この日は午後九時半を回っていましたから、すでに駅員さんはいません。無人の改札口の近くで、Nさんが「こんだ、おまん」と飲みみてえなー」とつぶやきました。この言葉がとてもやさしくてね、余韻が耳もとを去りませんでした。

柿崎駅の入り口にはタクシー乗り場があります。この日、私が電車から降りた時には二台のタクシーがお客を待っていました。予約を入れたお客さんを待っていたのでしようか、先頭にいたタクシーの運転手さんが入り口の所に立って待っていました。

運転手さんは源小学校水源分校時代から知っているナオちゃんです。少しぐらい暗くても、何十年も前からおにぎり顔で、いつもニコニコしているからすぐにわかります。「ちゃん」と呼んでいますが、ナオちゃんはずでに六〇代になっています。「飲み会があつてね」と声をかけると、「たいへんだね」とねぎらってくれました。

ナオちゃんの最大の魅力は笑顔とやさしさです。この夜もそのやさしさぶりを発揮してくれました。駅を出る時はちょうど雨がぱらついていました。すでに私の妻が軽自動車を迎えに来ていることを知っていたのでしよう、自分のタクシーに乗るお客でもないのに、玄関口の所へ行くとパツと傘を開いて私を入れてくれました。そして妻が乗っている自動車のところまで送ってくれたのです。うれしかったことは言うまでもありません。

「春よ来い」に何度も書いたように、柿崎駅は私が少年だったころからあこがれの場所でした。未知の遠い所へ行く出発点であるとともに、ふるさとに戻る玄関口でもありました。これは今でも同じです。一日の活動が終わって、柿崎駅に降り立ったときの安堵感他は他の駅では味わえないものがあります。

今年もあと数日になりました。年の瀬を迎えて、相変わらずバタバタすることが多い毎日ですが、もう一度くらいは柿崎駅を利用することがあるでしょう。その時、また素敵な出来事が起こりそうな気がします。



表千家の茶会に初参加

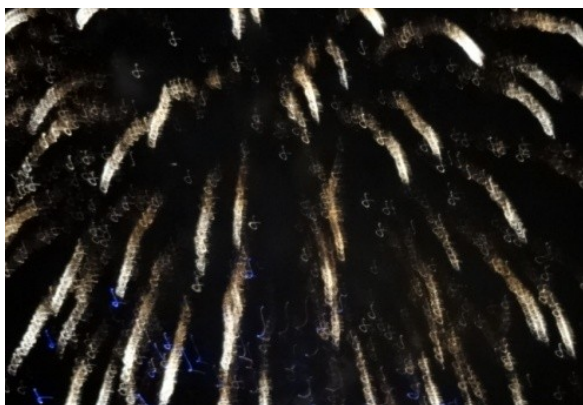
頸城野郷土資料室の今年の最後の講座を兼ねた茶会が21日、高田で行われ、参加してきました。

前半は講話です。稲田在住の清水みどりさんから、日本における茶の起源、流派のことなどをたっぷりお聴きしました。清水さんは表千家の先生ですが、私はお茶については全くの素人です。茶筌（ちゃせん）が表千家と裏千家では違うことなど初めて聴くことばかりでした。清水さんは講話にあたって、これまで書きためた小さなノート30冊のうち、1冊を持参し、そのなかから次々と興味深い話をしてくれました。とくに、日本人が使う「のむ」という言葉に含まれた意味合いについての話に惹きつけられました。酒を飲む、お茶を飲む、敵をのむ…、今度よく調べてみようと思います。

この日は、夕方から頸城野郷土資料室の忘年会でした。理事長の石塚正英さんの町屋

でアルコール類を持ち込み、たのしく飲みました。高校時代の同級生の女性陣ががんばってくれて、おいしい鍋料理もいただきました。私のブログ（電子日記）やフェイスブックを読んでくださる方が何人もおられ、「ビラの印刷、たいへんだね」とか「いつも、おはようございますから始まるんだよね」「県議選、頑張って」などたくさん声を寄せてもらいました。

今年もクリスマス・きらきら大作戦が22日、吉川区の原之町で行われました。当日は会議があり、会場には行けませんでした。冬の花火にはぎりぎり間に合いました。見事でしたね。準備された皆さん、ご苦労様でした。



上越地域各消防署における空間放射線量測定結果（測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常の範囲は1時間当たり0.016~0.16μSv（マイクロシーベルト）だということです。

	12月18日(水)	12月25日(水)
上越南消防署	0.040	0.040
上越北消防署	0.047	0.057
新井消防署	0.040	0.050
頸北消防署	0.050	0.043
頸南消防署	0.057	0.050
東頸消防署	0.040	0.053
高土分遣所	0.050	0.050
名立分遣所	0.047	0.047